

×



ご利用の環境は  
アプリではありません  
アプリならもっと快適に

開く

 Ameba



結婚をみんなで一緒に考えよう!学んでみよう!

ブログ情報

プロフィール

+ 読者になる



前のページ

一覧へ

次のページ



## こんな事態でも「それでも私は憎まない」とあなたなら言えますか

テーマ：人が輝くということ

2017-10-16 19:40:43

結婚教育の棚橋美枝子です。

私は日々の暮らしにととても幸せを感じる事が多いのですが、

それは育ちのせいでしょうか。

夫の借金から離婚に至りお金にとことん苦労したせいでしょうか。



暮らしが大変だったから、穏やかに日々、電気がついて、お湯が出て、ホカホカと暮らせたらしあわせ🍀となるのでしょう。

でももっと言えば、いのちの現場にいて、生きてることだけすごいいことだと実感しているせいかもしれません。

朝、病室へ行き、血圧を測りながら話をして、隣の患者さんに声をかけて振り向くと、今さっきまで話していた人の意識がなくなっていたり、

準夜勤で出勤して病棟を巡視していくと、ポータブルトイレに座ったままで亡くなっていたり、

朝、出勤したら深夜勤務帯に亡くなった方の死後の処置から始まり、日勤の途中でお二人の死後の処置があり、立て続けに3人も見送るようなことがあったり、

私の側には、常に生死があったと言っても過言ではなく、ある意味、戦場だったせいかもしれません。

とても忙しい毎日を送ることが出来るのも、その当時の訓練の賜物でしょう ↑

何より生きてるうちに出来ることを、少しでも少しでもやって、千の風になる瞬間、自分自身に、「今世よくがんばったんじゃないの？」と言ってやれるようにと思っています。

こんな平和な日本で、こんなに生死が間近に感じれることは、足元の幸せへの感謝へとつながっていると考えています。

私は相談員によくアドバイスをする一言に人間はどんなにしあわせであったとしても、数%は痛みがないとあきません。この数%の痛みを忘れてはいけませんと。

そんなことを思う私ですが、世界の平和に目を向けて女性が力を合わせてより良い社会にと、世界の恒久平和を願い活動されている団体にルミナスクラブ大阪さんがおられます。







歴史のことを英語でヒストリー(history)と言いますね。

手に持たれているのは、Her Story即ち女性史なんですよ。女性が輝く自分史を重ねるためにということで毎月読みやすい冊子をお届けくださっています。

自己啓発を身近なところで日々の暮らしの中に取り入れてと考えられていると理解しています。







では、次のお二人が持たれているのは何かと申しますと、





私も一緒にPRさせていただきました。

実は、これはガザ地区の医師 イゼルディン・アブエライシュ博士の人生のお話しを書かれた本です。







I SHALL NOT HATE  
A GAZA DOCTOR'S JOURNEY  
DR. IZZELDIN ABUELAISH

あるガザの医師が払った平和への代償

それでも、私は憎まない

イゼルディン・アブエライシュ 高月園子 | 訳 |



イスラエル軍による砲撃で3人の娘さんを亡くされたイゼルディン博士は、このように言われたそうです。

私の娘たちが最後の犠牲者となりますように

この方を日本にお招きしての講演会を催されます。

おや、日本とも交流をされている方のようなのです。





本を読ませていただき、胸がかきむしられるような思いになりました。

私たちの日本は自殺率が高い国です。

少し前の情報となりますが、5月30日、平成28年度、阿部内閣は自殺対策白書を閣議決定しました。

諸外国における自殺の現状を初めて詳しく分析した項目を加え、世界各国の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）を比較すると、日本はワースト6位という結果だったのです。



特に女性はワースト3位と高水準という結果でした。

その事から各国の自殺率を参考に、今年の夏には「自殺総合対策大綱」に日本の目標値が盛り込まれたものの見直しとなったのです。

一方、白書に盛り込まれた警察庁の統計では平成28年の自殺者数は2万1897人で、男性は1万5121人、女性は6776人。15年の3万4427人をピークに減少傾向にこそあります。

しかし、白書ではまた、27年の死因を5歳ごとの年齢階級別に分析したところ、15～39歳の5階級で1位が「自殺」と判明しており大綱では学校や行政による若年層の自殺防止対策が検討されることとなっています。

私は、看護師をしている時によく思いました。人は死ぬ事態になると「死にたくない」と思い、死なない事態だと「死にたくなる」のかもしれないあと。

だからこそ、死を目の前にした人の、死と対峙しながら生きることを見ている方と出会い学ぶべきであると。



そして、日本の国内が平和であるからこそ見えなくなっているものを、ぜひ、一度、命について共に学び、考え、人生を深めてみませんか。

## 講演会

それでも私は憎まない

### 日時:

10月28日（土）12時30分開場13時開演

### 講師:

アブエライシュ博士

### 会場:

ホテルアヴィーナ大阪3階 葛城の間

参加費: 2,000円(同時通訳あり)

主催:アブエライシュ博士講演会実行委員会


連絡先:相川さん 09023561250

ご一緒できる方は、ぜひこちらにご連絡くださいませ。終わりましたら一緒にお茶でもしながら、語り合いましょう(o^^o)


参加お問い合わせはこちらまで




 いいね!

 再読み込み

 コメント

 コメントしよう

 リブログ

 リブログしよう



LINE



ブックマーク



シェア



ツイート



シェア

◀ 前のページ

次のページ ▶

記事がありません

第9回結婚を語ろう会では『ワンオペ育児』  
について語り合いました！

📄 記事一覧をみる



結婚教育カウンセラー 棚橋美枝子

読者になる



安心・安全にご利用のために  
お問い合わせ | ヘルプ | 利用規約

© CyberAgent, Inc.

